

フランスの大学におけるガバナンス

ジャン・マリー・フィロック 氏 (仏 西ブルターニュ大学・前副学長)

講演概要 ボローニャ・プロセスの中で欧州各国との高等教育制度の調整が進む中、欧州での優位性を確保すべく、フランスの大学はガバナンスや教育の改革を進めている。政権の交代により高等教育政策が微妙に変化したり、高等教育予算が抑制されたりする中で、各大学とも運営に苦慮している。

本講演では継続教育担当副学長として政府との各種交渉や学内各組織等との調整に当たってきた立場から、フランスの大学におけるガバナンスの基本的構造やその特徴を明らかにする。

2017年1月31日(火) 16:00 – 17:30

場 所：名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 5F アクティブラーニングスタジオ

参加申込：下記ウェブサイトよりセミナー参加申込をお願いいたします。

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/seminar/seminarform.html>

※このセミナーは英語で行います。日本語通訳はありません。

○いただいた個人情報は、本企画運営の目的にのみ使用いたします。

○ご来場の際には、できる限り公共交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

構内駐車された場合の用務証明書発行はいたしかねますので、ご了承ください。